



第3章

計画における基本的な考え方



第3章 計画における基本的な考え方

1 計画の基本理念

少子高齢化社会にあって、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ、生き生きと育つことは市民すべての願いです。白杵で育つ子どもたちが、地域の人々の温かいぬくもりにつつまれて、子育てがしやすいと実感できるまちを目指します。

子ども・子育て支援については、こどもの視点に立ち、こどもの生存と発達が保障されるよう、良質かつ適切な内容及び水準の教育・保育環境を確保し、一人ひとりの「こどもの最善の利益」が実現される社会を目指します。

父母その他の保護者は、子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識を前提とし、家庭・学校・地域・職域その他の社会のあらゆる分野におけるすべての構成員が、それぞれの役割を果たすとともに、保護者が子育てに不安や負担ではなく喜びや生きがいを感じられるよう、地域や社会全体が子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、子育て中の保護者の気持ちを受け止め、寄り添い、支えることが大切です。

本計画においては、第2期計画の方向性はそのままに、基本理念を、『こどもの夢、そして、幸せを実現するこどもまんなか社会の構築』『地域で子育てを支援し、少子化に歯止めをかける体制づくり』と定め、引き続き理念の実現に向けた取組を推進します。

基本理念

『こどもの夢、そして、幸せを実現する

こどもまんなか社会の構築』

『地域で子育てを支援し、

少子化に歯止めをかける体制づくり』



2 計画の基本目標

本計画では、基本理念である『こどもの夢、そして、幸せを実現することもまんなか社会の構築』、『地域で子育てを支援し、少子化に歯止めをかける体制づくり』を実現するため、次の2つの基本目標を定めます。

基本目標1 地域が支える、笑顔輝くこどもが育つまちづくり

こども一人ひとりが自分の良さや可能性を見出し大切に、希望を持って幸せな生き方を切り拓く力を育むまち

白杵市は、自然豊かで、森づくりや有機農業の推進にも市独自の方針を持ち、命を大切にするまちです。国宝白杵石仏をはじめ多くの史跡や文化財、貴重な歴史的財産が大切に残されており、早くから南蛮文化にふれた中で、質素儉約で勤勉・文化的な白杵人気質を作り上げてきました。主要産業として、醤油、味噌等の醸造業があり、食を大切にするまちでもあります。

このふるさと白杵に誇りを持ち、どんな状況におかれてもたくましく生きていける知恵を身につけ、自分の体を作る「食」を大切に、笑顔で自分の人生を歩んでいけるこどもの育成を支援していきます。

こどもは誰もが自分の良さや可能性を、自ら発揮できる力を備えています。こどもの成長を長い目で見守り、一人ひとりに応じた関わりのなかでその力を最大限引き出すことが、保護者をはじめとした私たち大人の役割です。

基本目標2 地域が支える、安心して生み育てられるまちづくり

こどもが成長するそれぞれの段階で、親や周りの人々がこどもたちを「地域の宝」として豊かな愛情を持って育むまち

こどもを生み、育てやすい環境を整えるためには、結婚、妊娠・出産、乳幼児期、小中学校、高校まで一貫した支援が必要であり、そこには、保健・医療・福祉だけでなく、住まい・環境・仕事の場の整備など総合的な取組が求められます。

特に、妊娠から出産、育児と子育て中の家庭では、様々な不安や悩みを抱くものです。それぞれの段階で抱える乳幼児期のこどもの身体の問題、共働き家庭の保育や核家族化による育児不安、放課後児童対策、進学問題など社会や家庭環境の多様な問題に対応した行政サービスが必要です。

また、サービスを提供するだけでなく、「こどもは地域の宝」として、地域の様々な世代の人々が温かく関わり、支えあうという意識の醸成が、安心して、こどもを生み育てられるまちづくりを進めていくこととなります。



3 計画のめざす姿と基本的な視点

基本理念の実現に向けて、基本目標のもとでめざす姿を定めるとともに、以下の7つの基本的な視点に基づき、施策を推進します。

めざす姿

「子育ての喜びを実感できるわがまち臼杵」
～生まれてよかった！育ててよかった！～

基本的な7つの視点

- ① 「こどもにとっての支援」
- ② 「保護者への支援・家庭の子育て力を高める支援」
- ③ 「それぞれの成長段階に合わせた一貫した支援」
- ④ 「こどもを自立した社会人に育てる支援」
- ⑤ 「臼杵市の特性(臼杵らしさ)を生かした子育て支援」
- ⑥ 「様々な担い手による地域・社会全体での支援」
- ⑦ 「子育て支援関連施設に従事する職員を大切にする支援」



4 計画の施策体系

本計画は、次の「施策の体系図」に基づいて効果的・効率的な施策の実行を目指します。

基本理念	基本目標	施策目標	事業項目
『『地域で子どもの夢、そして、子育てを支援し、幸せを実現する子どもをまんなか社会の構築』』	1 2 地域が支える、笑顔輝く子どもが育つまちづくり	①子ども・若者の持続的幸福(ウェルビーイング)の実現に向けた社会全体の意識づくり -基本的な視点- ◎子どもにとっての支援	①-1 社会全体の意識づくり ①-2 子どもの人権を尊重する意識づくり ①-3 男女共同参画に関する意識づくり
		②地域における子育て支援環境の整備 -基本的な視点- ◎子どもにとっての支援 ◎様々な担い手による地域・社会全体での支援	②-1 地域子育て支援サービスの充実 ②-2 乳幼児期の教育・保育環境の整備 ②-3 教育・保育の一体的提供等に関する体制の確保 ②-4 子育て支援サービスに関する情報提供の充実 ②-5 地域で支えるネットワークづくり
		③子どもが健康に生まれ育つ環境づくり -基本的な視点- ◎子どもにとっての支援 ◎それぞれの成長段階に合わせた一貫した支援 ◎臼杵市の特性(臼杵らしさ)を活かした子育て支援	③-1 妊娠期から支える子育て支援の推進 ③-2 子どもや母親(保護者)の健康づくり ③-3 臼杵の環境を意識した食育の推進 ③-4 思春期の保健対策の充実 ③-5 小児医療・保健の推進
		④子どもの生きる力を育む教育の推進 -基本的な視点- ◎子どもにとっての支援 ◎保護者への支援・家庭の子育て力を高める支援	④-1 親や次代の親(子ども)の育成 ④-2 子どもの生きる力の育成に向けた教育内容の充実 ④-3 家庭や地域の連携による教育力の向上 ④-4 いじめ、不登校児童生徒に対する取組の充実
		⑤きめ細やかな対応が必要な子どもと親への支援 -基本的な視点- ◎子どもにとっての支援 ◎保護者への支援・家庭の子育て力を高める支援	⑤-1 児童虐待防止対策の充実 ⑤-2 ひとり親家庭等への自立支援の推進 ⑤-3 障がい児等への支援の充実 ⑤-4 様々な困りを抱えた親や子どもへの支援(子どもの貧困対策に関する支援)
		⑥子育ても仕事もしやすい環境づくり -基本的な視点- ◎子どもを自立した社会人に育てる支援 ◎教育・保育施設に従事する職員を大切にす支援	⑥-1 住みたくなるまち臼杵の環境づくり ⑥-2 ワーク・ライフ・バランスの推進 ⑥-3 父親の育児推進
		⑦子どもまんなかまちづくりの推進 -基本的な視点- ◎子どもにとっての支援	⑦-1 子育てしやすい生活環境づくり ⑦-2 子どもの安全を守るまちづくり(防災・事故・犯罪)